

越前市
教育施設等長寿命化方針

令和2年3月

越前市教育委員会

目次

第1章	教育施設等長寿命化方針とは	1
(1)	方針の策定目的	1
(2)	方針の位置付け	1
(3)	方針の策定体制	2
(4)	方針の期間	2
(5)	方針の対象施設	2
第2章	教育施設等の現況と課題	4
(1)	教育施設等の延床面積割合	4
(2)	教育施設等の築年別延床面積	4
(3)	教育施設等の分類別・築年別延床面積及びこれまでの整備内容	5
第3章	教育施設等の在り方	6
(1)	教育施設等に求められるもの（在り方）	6
第4章	教育施設等長寿命化方針	7
(1)	教育施設等長寿命化基本方針	7
(2)	教育施設等長寿命化整備方針	8
第5章	財政の整合性検討	11
(1)	長寿命化方針に係る整備費推計	11
(2)	整備費推計と財源の検討	13
(3)	財政状況を踏まえた今後の施設整備の取組み	14
第6章	長寿命化方針第1期実行方針	15
(1)	教育施設等長寿命化方針第1期実行方針（令和2～8年度）	15
第7章	推進方法	16
(1)	長寿命化の推進方法	16
第8章	資料編	17
(1)	教育施設等長寿命化検討会議委員名簿	17
(2)	教育施設等長寿命化検討会議開催経緯	17
(3)	施設基本情報	18

第1章 教育施設等長寿命化方針とは

(1) 方針の策定目的

本市の教育施設等は、公民館、児童福祉施設、学校、スポーツ施設等、未就学児から高齢者まで幅広い年齢層が使用する市民ニーズの高い施設となっており、今日において、これら教育施設等は市民の皆様はもちろん、行政にとっても大切な財産となっています。

しかしながら、これら教育施設等は、他の市公共施設及び全国の自治体と同様に、高度経済成長期の人口増加等に対応すべく、特に1970年代後半から1980年代にかけて集中的に整備されており、今後老朽化による更新時期が集中し、更新に対する財源を確保することが課題となっています。また、省エネや耐震等、技術の進歩による社会的な要求水準の上昇等への対応も必要となっており、費用の抑制と施設機能向上の、両方を実現していくことが課題となっています。

このような状況において、国は「インフラ長寿命化基本計画」を策定するとともに、地方自治体に対しては、保有する公共施設の基本的な方向性を示す「公共施設等総合管理計画」と、個別施設毎の具体的な方針を策定することを要請しました。これを受けて本市は、40年間の公共施設等の管理に関して基本的な方針を定める「越前市公共施設等総合管理計画」を平成29年3月に策定しました。

教育施設等においても、求められる施設機能を確実に確保するために、必要な整備を計画的に実施すべく、「越前市公共施設等総合管理計画」を上位計画とした「教育施設等長寿命化方針」を策定します。

(2) 方針の位置付け

教育施設等長寿命化方針は、越前市公共施設等総合管理計画を上位計画とし、同計画の基本方針に基づき策定します。また、本方針の対象施設の中には耐震化が必要な施設もあり、それらは越前市市有建築物耐震化計画（第三期）とも連携します。

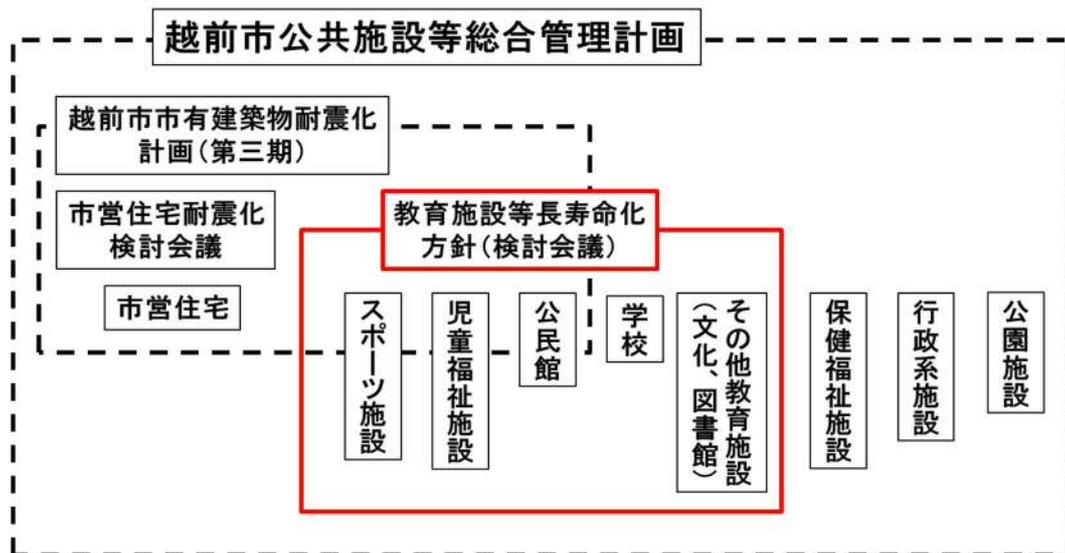


図 教育施設等長寿命化方針の体系

(3) 方針の策定体制

学識経験者及び施設関係者を委員とした「越前市教育施設等長寿命化検討会議」を設置し、専門的かつ客観的な意見を聴取することで、本方針を策定しました。

(4) 方針の期間

上位計画である市公共施設等総合管理計画の終期に合わせて令和 38 年度までとし、令和 2 年度から 37 年間とします。また、10 年単位で見直しを実施していくものとし、第 1 期方針期間は市公共施設等総合管理計画の第 1 期計画に合わせて、令和 8 年度までの 7 年間とします。



図 本方針期間

(5) 方針の対象施設

本方針の対象となる施設分類及びその施設を以下に示します。

施設分類	施設
公民館	武生東公民館 武生西公民館 (別館含む) 武生南公民館 神山公民館 吉野公民館 国高公民館 大虫公民館 坂口公民館 王子保公民館 北新庄公民館 北日野公民館 味真野公民館 白山公民館 花筐公民館 岡本公民館 (生涯学習センター今立分館) 南中山公民館 服間公民館 (服間改善センター)
児童福祉施設	【児童館、児童センター】 武生東児童センター 武生西児童センター 武生南児童センター 神山児童館 吉野児童館 国高児童センター 大虫児童館 王子保児童センター 北新庄児童館 北日野児童センター 味真野児童センター 花筐児童館 岡本児童館 服間児童館

	<p>【保育園、認定こども園、幼稚園】</p> <p>認定こども園北新庄 認定こども園北日野 認定こども園岡本 認定こども園南中山 認定こども園服間 なかよし保育園 家久保育園 上太田保育園 武生西幼稚園 武生南幼稚園 吉野幼稚園 国高幼稚園 坂口幼稚園 王子保幼稚園 味真野幼稚園</p>
学校	<p>武生東小学校 武生西小学校 武生南小学校 神山小学校 吉野小学校 国高小学校 大虫小学校 坂口小学校 王子保小学校 北日野小学校 北新庄小学校 味真野小学校 白山小学校 花筐小学校 岡本小学校 南中山小学校 服間小学校 武生第一中学校 武生第二中学校 武生第二中学校坂口分校 武生第三中学校 武生第六中学校 万葉中学校 武生第五中学校 南越中学校</p>
スポーツ施設	<p>瓜生水と緑公園体育館 栗田部体育館 弓道場 今立体育センター 武生中央公園体育館 武道館 白崎公園屋内ゲートボール場 家久スポーツ公園温水プール等 武生東運動公園陸上競技場 武生体育センター 大虫体育館 北新庄体育館 北日野体育館</p>
その他教育施設	<p>【文化施設】</p> <p>いまだて芸術館 文化センター ふるさとギャラリー叔羅 武生公会堂記念館</p> <p>【図書館】</p> <p>かこさとし ふるさと絵本館「碩」 中央図書館 今立図書館</p>

第2章 教育施設等の現況と課題

(1) 教育施設等の延床面積割合

令和元年3月31日時点における教育施設等の総延床面積は約21万㎡であり、市公共施設全体面積(約34万㎡)に占める割合は約6割に及びます。教育施設等の延床面積の内訳としては、学校が教育施設等全体の大半を占めており、次いでスポーツ施設、公民館の順になっています。

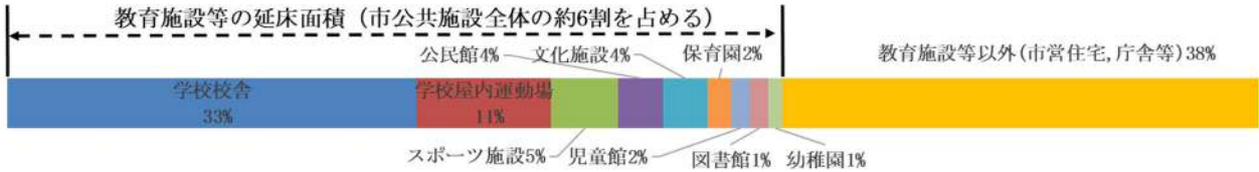


図 市公共施設全体における教育施設等の延床面積割合

(2) 教育施設等の築年別延床面積

教育施設等について、建設年別に施設分類ごとの延床面積を以下に示します。これらの教育施設等の多くは、1970年代後半から1980年代に建設されており、築60年程度で改築(建て替え)を行う場合、改築時期は2030年から2040年代に集中し、費用が一時期に集中するため、財源を確保することが困難になることが想定されます。

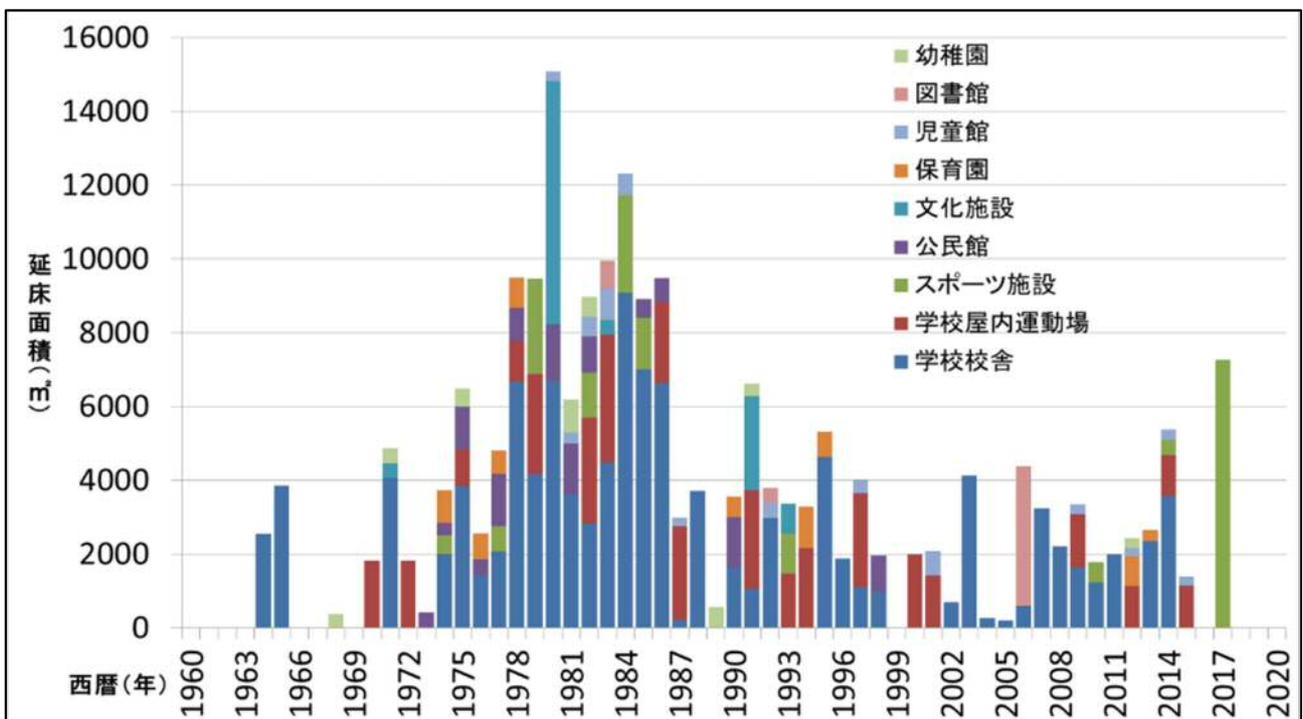


図 教育施設等の築年別延床面積

(1) (2) とともに本方針18頁施設基本情報における延床面積を参照

(3) 教育施設等の分類別・築年別延床面積及びこれまでの整備内容

施設分類毎の築年別延床面積及びこれまでの整備内容を以下に示します（文化施設及び図書館は施設数が少ないため省略）。多くの施設が築40年を経過しており、学校については、平成20年度からの耐震化事業と併せて改修を行っています。学校以外の施設は、耐震化対策及び老朽化対策が十分に進んでいないため、今後、耐震化や、改修及び改築の需要が高まることが想定されます。

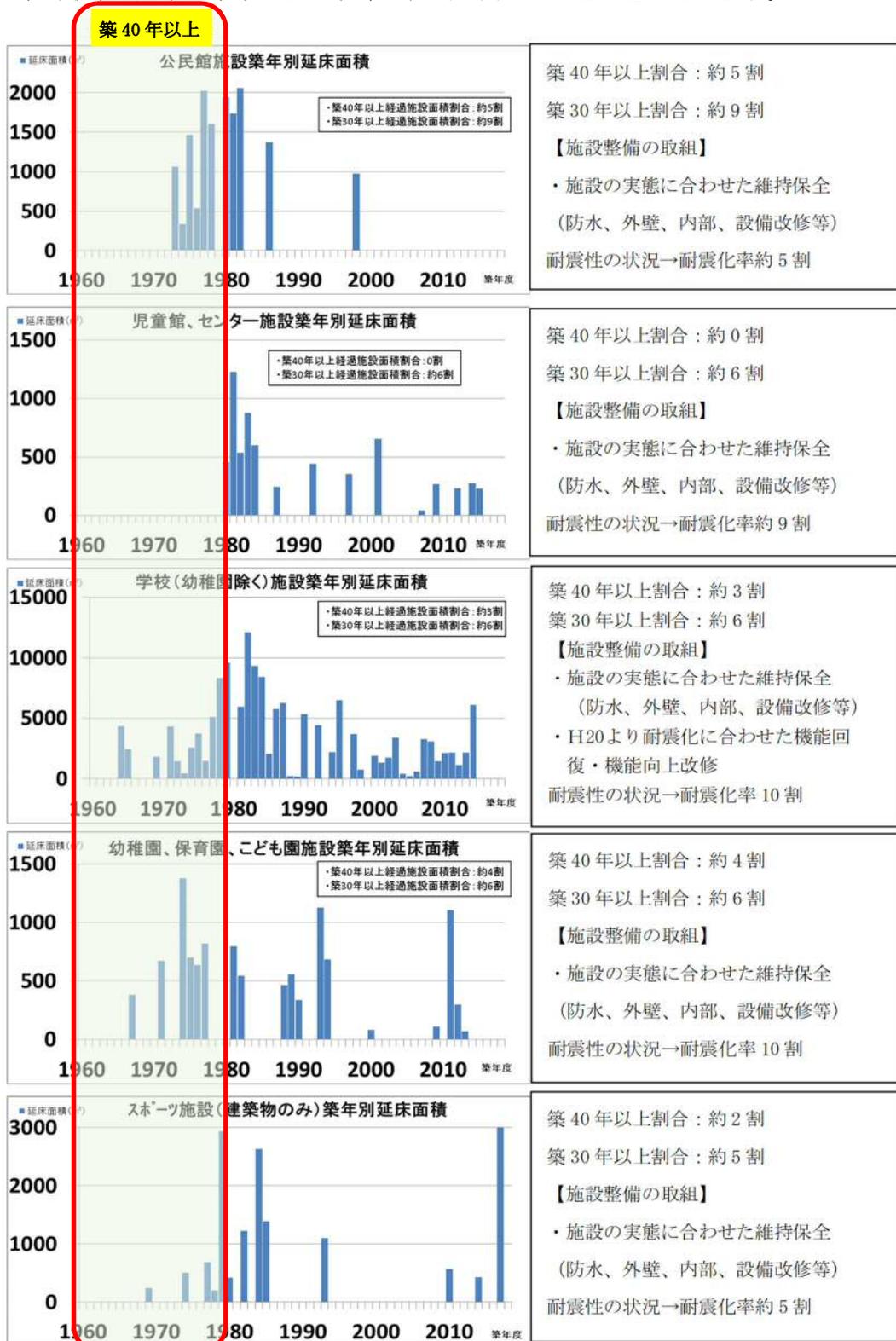


図 教育施設等の分類毎の築年別延床面積及びこれまでの整備内容

第3章 教育施設等の在り方

第2章で述べたとおり、教育施設等の多くが1970年代後半から1980年代に建設されており、これまで同様築60年前後で改築を行う場合、2030年代から2040年代に費用が集中することになり、財源を確保することが難しい状況になっています。しかしながら、幅広い年齢層が使用する市民ニーズの高い教育施設等においては、省エネや耐震等、技術の進歩による社会的な要求水準の上昇等、施設機能の向上も求められています。

上記の財政制約及び施設機能向上等に対応するため、今後教育施設等に求められるもの（在り方）について、以下のとおり整理し、実現に向けて方針を定めていくこととします。

（1）教育施設等に求められるもの（在り方）

①高い安全性とバリアフリー

日常的に多くの人々が利用し、かつ災害時の拠点施設にもなる教育施設等については、高い安全性が求められ、耐震性や老朽化の解消が必要になります。



例1：耐震化



例2：スロープ設置

②計画的な維持管理による長寿命化の推進

施設は、故障が発生する前に計画的に改修を行うことや、定期点検（診断）又は日常的な点検による改修を適切に行うことで施設の劣化拡大を抑制し、躯体の寿命である築80年前後まで長寿命化させることができると言われています。これら予防保全的な改修を長寿命化改修といい、改築より低価格でできるとされているため、費用平準化が可能になり、建築時期が集中している教育施設等において有効と考えられます。

③機能向上と環境への配慮

省エネや耐震等、技術の進歩により社会的な要求水準や環境への配慮意識が高まっていることから、日常的に多くの市民が利用する教育施設等においても、それらを満たすべく整備する必要があります。

例1：トイレ洋式化



例2：省エネ空調への更新



例3：照明のLED化



④まちづくりや都市計画と連動した地域コミュニティ活動の拠点化

教育施設等において、特に学校や公民館、児童館は地域コミュニティ活動を行う上で重要な役割を担っていることから、それら施設は地域の中心に立地し、地域コミュニティ活動の拠点化を図ることが望まれます。

⑤施設保有量適正化

今後益々厳しくなることが見込まれる市財政状況において、現状の教育施設等の保有面積を維持しながら全ての施設の老朽化対応整備を実行することは大変困難であることから、必要な施設機能については維持を図りながらも、延床面積を削減し、費用を削減する必要があります。

第4章 教育施設等長寿命化方針

第2章及び第3章で検討した教育施設等の課題や今後の在り方を踏まえ、それらを実現するために今後必要な長寿命化の方針を以下に示します。

(1) 教育施設等長寿命化基本方針

方針1 安全性の確保

日常的に多くの人々が利用し、かつ災害時の拠点施設にもなる教育施設等において、耐震性の無い施設については優先的に耐震化を進めることとし、併せて老朽化の解消も図ります。

方針2 計画的な維持管理による長寿命化の推進

改修の節目となる20年前後毎に施設の劣化状況や財政状況、周辺施設の老朽化状況を総合的に鑑みて、計画的に施設改修を行い、躯体の寿命である築80年前後まで施設を長寿命化させ、費用平準化を図ります。

方針3 ユニバーサルデザインの推進

教育施設等の多くは避難場所にも指定されていることから、災害時にも安全性を確保でき、多様な人が障壁なく施設を利用できるよう、バリアフリー化を推進します。

方針4 環境に配慮した施設整備の推進

省エネ効果の高い空調設備やLED照明に更新していくことで、環境に配慮した施設へ整備していくとともに、ランニングコストの低減を図ります。

方針5 施設保有量適正化

改修又は改築を実施する際には、周辺施設との相互利用¹・複合化²又は他施設との集約化³により、延床面積の縮減を図りながらも、利用可能面積の確保及び地域コミュニティ活動の拠点化を進めます。

¹ 相互利用とは・・・複数の既存施設間において、時間帯を区分して相互に使用すること。

² 複合化とは・・・異なる種類である複数の既存施設を、1つの施設に再整備すること。

³ 集約化とは・・・同種又は類似である複数の既存施設を、1つの施設に再整備すること。

(2) 教育施設等長寿命化整備方針

① 教育施設等長寿命化整備方針検討フロー

各施設の長寿命化にあたっては、各施設整備の判断にばらつきが生じないように、以下のフロー図に基づき検討していきます。改修等の整備時期が到来した個々の施設は、以下フローにより改修又は改築方針に分類し、実行段階において、躯体調査、財政、周辺施設、利用者協議、費用対効果、教育機能等の状況を総合的に判断し整備内容を最終決定します。

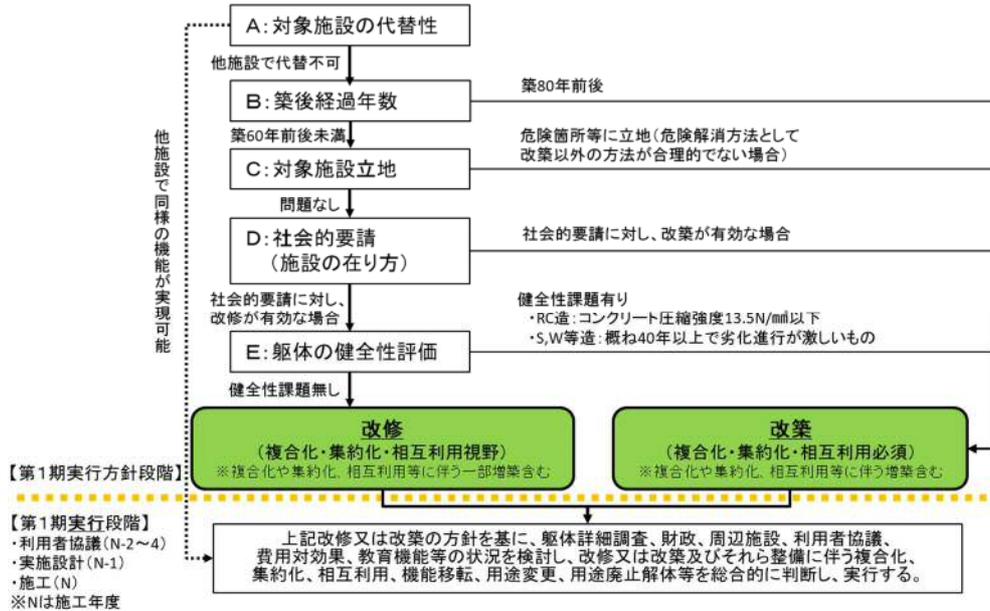


図 教育施設等長寿命化整備方針検討フロー

【改修及び改築の定義】

改修：建物を解体せず、既存建物に対し、劣化箇所の回復や機能向上を行うもの。

例：味真野小学校屋内運動場改修（屋根、外壁、床、天井、LED改修等）

天井、LED改修前



天井、LED改修後



改築：建物を解体し、同じ場所又は別の場所に新しく建物を建てること。

例：市役所庁舎の建て替え（現庁舎の隣に新庁舎建設）



② 20年周期毎の予防保全改修の実施

整備方針検討フローにおいて改修方針とした施設については、長寿命化に係る予防保全的な改修（機能回復修繕及び機能向上改修）を20年周期で行うことで劣化拡大を抑制し、施設を築80年前後まで使用できるよう長寿命化し、費用平準化を図ります。機能回復修繕及び機能向上改修で改修対象とする部位は主に屋根、外壁、空調、内装、電気設備、給排水設備とします。また、バリアフリーについて、整備周期に関わらず必要に応じ適切に対応していくこととします。

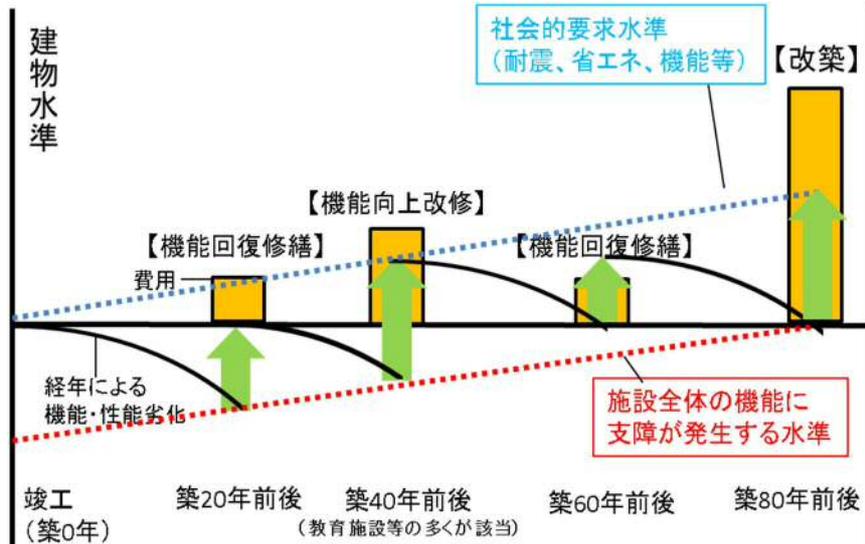


図 教育施設等の長寿命化に係る改修周期

○：主たる部位の更新 △：部分補修

対象部位	整備名称	機能回復修繕 築20年	機能向上改修 築40年	機能回復修繕 築60年	改築
屋根	 防水の改修	○	○	○	建替 一新
外壁	 外部仕上げ材の改修	△	○	△	
空調	 エアコンの改修	○	○	○	
内装 (床、壁、天井)	 天井の改修	△	○ (主要部分)	△	
電気設備	 照明更新	△	○ (主要部分)	△	
給排水設備	 トイレ洋式化	△	○ (主要部分)	△	
その他劣化部位		○	○	○	

図 教育施設等の長寿命化に係る改修内容

③ 複合化や集約化、相互利用による施設保有量適正化と施設機能拠点化促進

長寿命化基本方針である施設保有量適正化を推進するために、改修又は改築の実施にあたっては、複合化や集約化、相互利用により、複数施設を特定施設に集中整備することで、必要な施設機能を維持又は向上しながらも、施設面積を縮減します。また、特定施設の集中整備によって、分散していた施設機能を拠点化し、施設の利便性や稼働率を向上させます。

複合化や集約化、相互利用の実施にあたっては、施設利用形態に影響があることから、施設利用者との協議を綿密に行うこととし、利用者協議、設計、施工の順に丁寧に実施していきます。

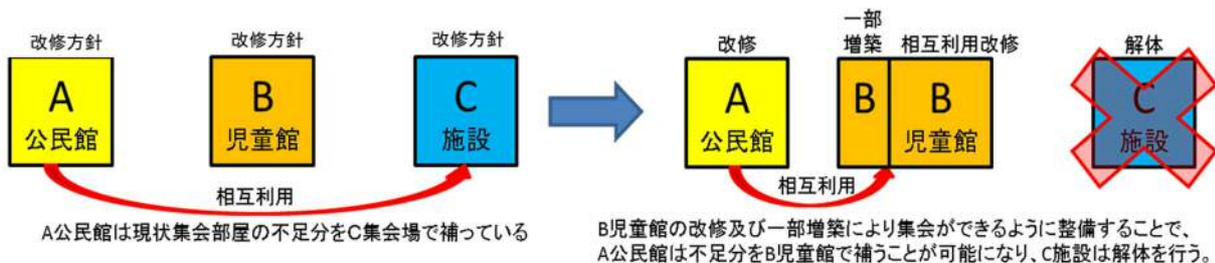
【複合化及び集約化の定義】

複合化とは・・・異なる種類である複数の既存施設を、1つの施設に再整備すること。

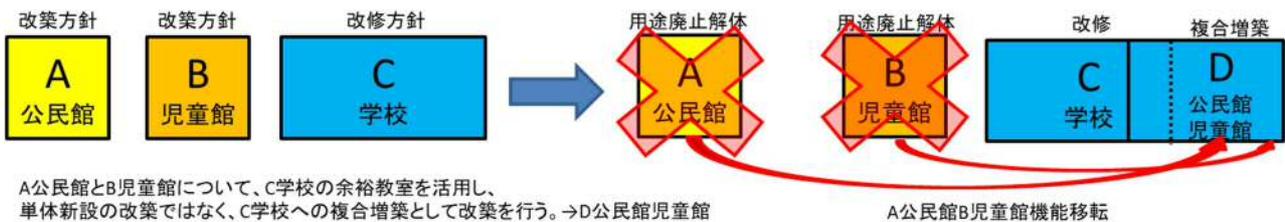
集約化とは・・・同種又は類似である複数の既存施設を、1つの施設に再整備すること。

相互利用とは・・・複数の既存施設間において、時間帯を区分して相互に使用すること。

・相互利用を図る改修を行うことによる施設保有量適正化と施設機能拠点化イメージ



・複合増築を行うことによる施設保有量適正化と施設機能拠点化イメージ



・用途変更及び複合改築を行うことによる施設保有量適正化と施設機能拠点化イメージ



第5章 財政の整合性検討

第4章では、維持する施設について長寿命化に係る改修（機能回復修繕及び機能向上改修）を20年周期で行い、築80年前後まで長寿命化する整備方針を示しました。

本章においては、上記長寿命化に係る費用を推計し、充当し得る財源を推計することにより、財政との整合性を検討します。

（1）長寿命化方針に係る整備費推計

① 整備費推計条件

- ・推計期間 方針期間と同じ令和2年度から令和38年度までの37年間
- ・整備費単価

改修、改築にかかるコストの試算は、「地方公共団体の財政分析等に関する調査研究報告書」（一般財団法人自治総合センター）の算定根拠をもとに、本市の実績や実情を踏まえた単価等を設定します。

表 整備費推計に用いる単価 2019年10月1日時点

区 分	機能回復修繕	機能向上改修	機能回復修繕	改築
	(20年目)	(40年目)	(60年目)	(80年目)
	10% ※改築比	30% ※改築比	10% ※改築比	100%
公民館	40 千円/㎡	120 千円/㎡	40 千円/㎡	400 千円/㎡
児童館	36 千円/㎡	108 千円/㎡	36 千円/㎡	360 千円/㎡
学校（屋内運動場）	33 千円/㎡	99 千円/㎡	33 千円/㎡	330 千円/㎡
学校（校舎）	33 千円/㎡	99 千円/㎡	33 千円/㎡	330 千円/㎡
学校（幼稚園）	33 千円/㎡	99 千円/㎡	33 千円/㎡	330 千円/㎡
保育園（認定こども園）	36 千円/㎡	108 千円/㎡	36 千円/㎡	360 千円/㎡
スポーツ施設	36 千円/㎡	108 千円/㎡	36 千円/㎡	360 千円/㎡
文化施設、図書館	40 千円/㎡	120 千円/㎡	40 千円/㎡	400 千円/㎡

※上記単価に加え、維持保全、耐震補強、解体費等を整備費推計に含めます。

※小規模建物（200㎡未満）については、費用算出から除外しています。

- ・整備周期

整備費を推計するため、築年数に応じてグループ分けを行います。グループ分けには、20年周期での改修を原則としながらも、各期の費用平準化を図りつつ適切な時期に改修が行えるよう、改修履歴を加味します。

	機能向上改修履歴	築年数	第1期	第2期	第3期	第4期
			(~2026年度)	(2027~2036年度)	(2037~2046年度)	(2047~2056年度)
Aグループ(41棟) 【築19年以下】	未	築0~4年	維持保全	維持保全	機能回復修繕 (築20年)	維持保全
		築5~19年	維持保全	機能回復修繕 (築20年)	維持保全	機能向上改修 (築40年)
Bグループ(31棟) 【築20~29年以下】	未	築20~29年	機能回復修繕 (築20年)	維持保全	機能向上改修 (築40年)	維持保全
Cグループ(74棟) 【築30~39年以下】	未	築30~36年	維持保全	機能向上改修 (築40年)	維持保全	機能回復修繕 (築60年)
		築37~39年	機能向上改修 (築40年)	維持保全	機能回復修繕 (築60年)	維持保全
	済	築30~39年	維持保全	維持保全	機能回復修繕 (築60年)	維持保全
Dグループ(52棟) 【築40年以上】	未	築40年以上	機能向上改修 (築40年)	維持保全	機能回復修繕 (築60年)	維持保全
		築40~45年	維持保全	機能回復修繕 (築60年)	維持保全	維持保全
	済	築46~49年	維持保全	機能回復修繕 (築60年)	維持保全	改 築
		築50年以上	維持保全	機能回復修繕 (築60年)	改 築	維持保全

図 整備費推計に用いる整備周期グループ

② 整備費推計結果

令和2年度から38年度までの37年間の推計期間では、**整備費360億円、年平均9億7千万円**の費用が発生する推計となりました。各期における単年度費用平均に大きな差異がなく、費用が平準化されている推計結果となりました。

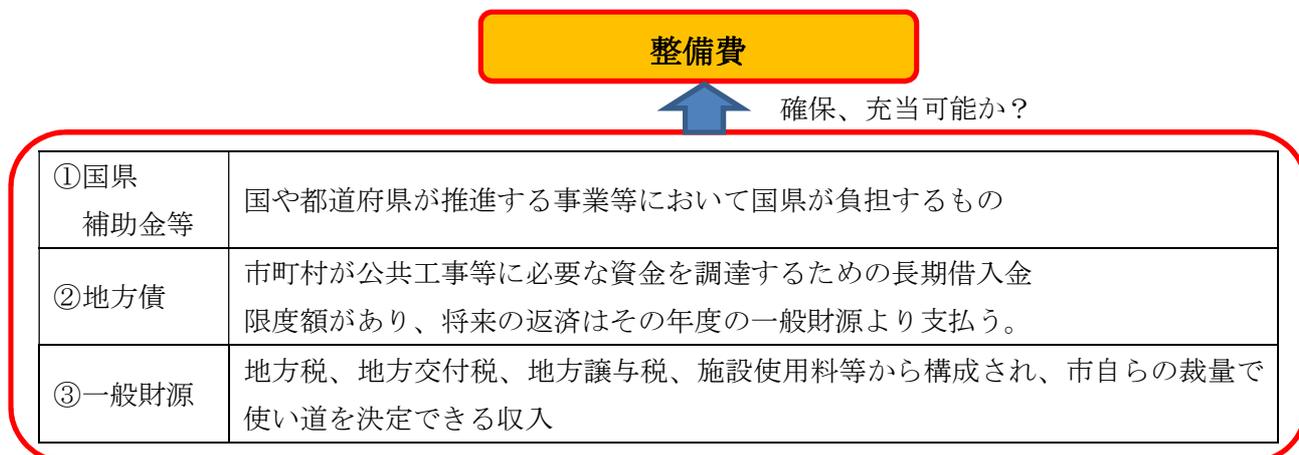
区 分	1期 2020～ 2026年度 (千円)	2期 2027～ 2036年度 (千円)	3期 2037～ 2046年度 (千円)	4期 2047～ 2056年度 (千円)	全 体 (千円)
公民館	1,460,000	220,000	780,000	380,000	2,840,000
児童館	290,000	260,000	200,000	260,000	1,010,000
学校（屋内運動場）	1,150,000	1,670,000	1,570,000	2,350,000	6,740,000
学校（校舎）	1,680,000	5,870,000	5,020,000	5,180,000	17,750,000
学校（幼稚園）	640,000	40,000	120,000	50,000	850,000
保育園・認定こども園	760,000	140,000	380,000	190,000	1,470,000
スポーツ施設	650,000	680,000	720,000	457,100	2,507,100
文化施設	240,000	540,000	830,000	280,000	1,890,000
図書館施設	60,000	290,000	110,000	540,000	1,000,000
合 計	6,930,000	9,710,000	9,730,000	9,690,000	36,060,000
割 合	19.3%	26.9%	27.0%	26.8%	100.0%
単年度平均	990,000	970,000	970,000	970,000	970,000

※第1期は至急整備が必要な部位（空調更新や体育館水銀灯照明LED化等）があり、それら部位更新は機能回復修繕や機能向上改修に先行して行います。

(2) 整備費推計と財源の検討

公共工事費に対する財源は、主に、①国県補助金等、②地方債、③一般財源の3つから構成されます。

3つの内、地方債及び一般財源は市財政に直接影響するものであるため、「前頁にて算出した整備費推計に対し充当でき得る地方債及び一般財源額推計が、過去の実績額未満であるか」により財政的整合性を検討することとします。



平成 25～30 年度 教育委員会（子ども福祉課除く）施設整備費に充当した地方債及び一般財源額

財源内訳	H25	H26	H27	H28	H29	H30	年平均
地方債	657,200	1,180,700	1,649,300	961,255	758,900	277,700	914,176
一般財源	239,443	219,349	210,966	141,121	120,534	161,794	182,201

※「越前市主要な施策の成果等決算報告書 普通会計 普通建設整備費」を参照

⇒子ども福祉課施設（保育園・認定こども園・児童館：教育委員会施設の約5%の延床面積）を含めると、
 地方債 = 914,176 千円 × 1.05 = **959,884 千円**
 一般財源 = 182,201 千円 × 1.05 = **191,311 千円**

教育施設等の地方債過去実績額 ⇒ **年平均 9 億 6 千万円**
 教育施設等の一般財源過去実績額 ⇒ **年平均 1 億 9 千万円**

比率
8
∴
2

前頁にて算出した今後の整備費推計 ⇒ **年平均 9 億 7 千万円**

今後整備費に充当でき得る地方債推計 ⇒ 9 億 7 千万円 × 0.8（比率 8:2） = **年平均 7 億 8 千万円**

今後整備費に充当でき得る一般財源推計 ⇒ 9 億 7 千万円 × 0.2（比率 8:2） = **年平均 1 億 9 千万円**

過去実績額以下であるため
財政と整合が取れている。

※流動的な国県補助金等は財源推計に含めず、地方債と一般財源のみで対応すると仮定して計算

(3) 財政状況を踏まえた今後の施設整備の取組み

前頁での検討により、本章(1)②にて算出した整備費推計と財政の整合性を確認しました。

但し、これまでは合併特例債や学校耐震化の国庫補助等、有利な起債や国庫補助が適用できていましたが、今後は同様の起債や国庫補助は見込めないこと、また、少子高齢化による社会保障費の増大、人口減少により税収の減少等、財政状況は厳しくなることが予想されることから、市公共施設等総合管理計画において目標とした延床面積の3割縮減による費用圧縮や、計画的な予防保全による劣化拡大抑制による維持管理費縮減は継続して取り組んでいく必要があります。

第6章 長寿命化方針第1期実行方針

第5章において、長寿命化に係る改修（機能回復修繕及び機能向上改修）を20年周期で行い、築80年前後まで長寿命化する整備方針の財政的整合性を確認できたため、本章においては、第1期（令和2年度から令和8年度までの7年間）の長寿命化について、具体的な実行方針を定めます。

(1) 教育施設等長寿命化方針第1期実行方針（令和2～8年度）

学校	<ul style="list-style-type: none"> ・長寿命化整備方針検討フローに基づき、第1期に機能向上改修時期を迎える施設は「改修」方針とする。 ・学校以外の施設との複合化や相互利用を視野に入れて改修し、それに伴う一部増築も含むこととする。
	対象 北日野小学校屋内運動場、武生南小学校屋内運動場、王子保小学校屋内運動場、武生西小学校屋内運動場、武生第一中学校本館
公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震化が必要な公民館は耐震化と合わせて機能向上改修を行い、耐震性の低い公民館から順に改修する。 ・長寿命化整備方針検討フローに基づき、第1期に機能向上改修時期を迎える施設は「改修」方針とする。（但し、危険箇所等に立地している場合を除く。） ・公民館以外の施設との複合化や相互利用を視野に入れて改修し、それに伴う一部増築も含むこととする。
	対象 <ul style="list-style-type: none"> 【耐震化が必要な公民館→耐震化+機能向上改修】 南中山公民館、花筐公民館、神山公民館、武生南公民館、白山公民館、北新庄公民館、武生西公民館、吉野公民館、味真野公民館 【耐震化を要しない公民館→機能向上改修】 王子保公民館、坂口公民館、服間改善センター、北日野公民館、大虫公民館
児童館	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震化が必要な児童館は、耐震化と合わせて機能向上改修を行う。 ・長寿命化整備方針検討フローに基づき、第1期に機能向上改修時期を迎える施設は「改修」方針とする。（但し、危険箇所等に立地している場合を除く。） ・児童館以外の施設との複合化や相互利用を視野に入れて改修し、それに伴う一部増築も含むこととする。
	対象 <ul style="list-style-type: none"> 【耐震化が必要な児童館→耐震化+機能向上改修】 南中山児童館、北日野児童センター 【耐震化を要しない児童館→機能向上改修】 花筐児童館、神山児童館、武生南児童センター
幼稚園・保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・長寿命化整備方針検討フローに基づき、第1期に機能向上改修時期を迎える施設は、越前市子ども・子育て支援計画（第2期）に基づき、幼保一体化を推進する。 ・改修、改築の際に、複合化や集約化、相互利用を行うこととし、それに伴う一部増築も含むこととする。
	対象 上太田保育園、なかよし保育園、武生西幼稚園、家久保育園、吉野幼稚園、王子保幼稚園、武生南幼稚園（休園）、味真野幼稚園（休園）
スポーツ施設	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震化が必要なスポーツ施設は耐震化と合わせて機能向上改修を行う。 ・長寿命化整備方針検討フローに基づき、第1期に機能向上改修時期を迎える施設は「改修」方針とする。 ・越前市スポーツ施設再配置計画と整合性を図りながら、複合化や集約化、相互利用を視野に入れて改修し、それに伴う一部増築も含むこととする。
	対象 【耐震化が必要なスポーツ施設→耐震化+機能向上改修】 武道館
文化施設・図書館	
対象	・部位更新を主に実施する 部位更新

- ・施設の部位について、劣化の進行が著しい、製品が生産中止となっている等、機能向上改修や機能回復修繕に先行して更新を行う必要があるものは、教育施設等全般において、第1期に早急に更新を実施します。（部位更新の例：屋上防水、外壁、水銀灯LED化、空調、その他備品や工作物等の整備）
- ・改修工事を行う前々年度には、施設利用者と協議し、相互理解や共通認識の形成を図ります。
- ・上記の実行方針は、主要改修施設のみ抜粋し記載しています。

第7章 推進方法

(1) 長寿命化の推進方法

本方針では、複合化や相互利用を進める必要があるため、各部局連携して推進することとし、上位計画である公共施設等総合管理計画と整合性をとりながら進めます。

また、複合化や集約化、相互利用の実施にあたっては、施設利用形態に影響があることから、施設利用者との協議を綿密に行い、利用者協議、設計、施工の順に実施することで、施設利用者との相互理解や共通認識の形成を図ります。

定期点検（診断）又は日常的な点検を丁寧に実施し、劣化している部位について劣化の拡大抑制処置を行い、長寿命化を図ります。

第8章 資料編

(1) 教育施設等長寿命化検討会議委員名簿

	氏名	所属団体等
座長	野嶋 慎二	福井大学 教授 建築建設工学専攻
副座長	加藤 のぶ子	越前市公民館連合会
	福島 宏	越前市自治連合会
	先織 大悟	越前市PTA連合会
	山本 聖三	越前市保育研究会
	北川 喜教	越前市校長会
	黒田 直樹	(公社) 越前市スポーツ協会

(2) 教育施設等長寿命化検討会議開催経緯

	開催日	協議事項
第1回	令和元年7月17日	<ul style="list-style-type: none"> ・越前市教育施設等長寿命化方針の策定目的、位置付けについて ・検討会議の役割及び会議スケジュールについて ・市教育施設等の現況について ・市教育施設等に求められるもの（在り方）について ・市教育施設等の整備基本方針及び整備順の考え方について
第2回	令和元年8月20日	<ul style="list-style-type: none"> ・施設分類における施設毎の整備方針の考え方について ・地区毎の施設配置状況について
第3回	令和元年10月31日	<ul style="list-style-type: none"> ・長寿命化方針と財政状況の整合性検討について <ul style="list-style-type: none"> （1）長寿命化方針に係る整備費推計について （2）整備費推計と財源の検討について ・長寿命化方針第1期実行方針について ・教育施設等長寿命化方針の素案について
	令和元年12月15日 ～令和2年1月10日	パブリック・コメントの実施
第4回	令和2年1月28日	パブリック・コメントの結果について

(3) 施設基本情報

各施設各棟の基本情報を行政地区毎に築年数順に以下に示します。

① 東地区

建築物名称	棟	建築年	経過年数	構造	階数	延床面積
武生公会堂記念館		1929	90	R C	6	1,281.76
武生東小学校	管理棟（南校舎）	1974	45	R C	2	1,463.00
武生東小学校	特別教室棟（東校舎）・ 渡り廊下棟（東-北）	1975	44	R C	3	2,327.00
武生東小学校	普通教室棟（北校舎）	1979	40	R C	3	1,553.29
武生東公民館 （旧武生東幼稚園）		1982	37	R C	1	539.99
武生東児童センター		1984	35	S	2	598.32
武生東小学校	屋内運動場	2009	10	S R C	2	1,442.37

構造：W（木造）、R C（鉄筋コンクリート造）、S R C（鉄骨鉄筋コンクリート造）、S（鉄骨造）

② 西地区

建築物名称	棟	建築年	経過年数	構造	階数	延床面積
武生西小学校	普通教室棟（北校舎） 渡り廊下棟（北部分）・便所棟	1964	55	R C	3	2,535.00
武生西小学校	管理・普通教室棟（南校舎）	1965	54	R C	3	2,253.03
なかよし保育園	管理室棟（A棟）	1974	45	R C	1	215.42
なかよし保育園	遊戯室棟（B棟）	1974	45	R C	1	159.01
なかよし保育園	保育室北棟（C棟）	1974	45	R C	2	521.37
武生西公民館	本館	1975	44	R C	2	444.90
武生西公民館 別館		1978	41	R C	2	446.66
武道館	本館・宿泊所	1979	39	R C	2	2,589.67
文化センター	大ホール	1980	39	R C	4	6,588.57
武生西小学校	屋内運動場	1982	37	S R C	2	1,680.84
武生第一中学校	本館（南校舎）	1982	37	R C	3	2,258.00
武生第一中学校	本館（南校舎北部）	1982	37	R C	2	573.00
武生西幼稚園	保育室	1982	36	R C	1	298.08
武生西幼稚園	遊戯室	1982	36	R C	1	242.64
武生西児童センター		1983	36	S	1	552.60
武生第一中学校	屋内運動場	1983	36	S R C	2	2,104.19
武生西小学校	特別教室棟（南校舎西部）	1984	35	R C	2	450.86
武生第一中学校	普通教室棟（中校舎）	1984	35	R C	4	2,881.00
武生第一中学校	特別教室棟（北校舎）	1985	34	R C	3	1,449.00
武生第一中学校	特別教室棟（北校舎東部）	1986	33	R C	3	531.21
かこさとし ふるさと絵本館「石石」		1992	27	R C	2	393.48
武生第一中学校	ランチルーム	2003	15	S	1	571.28
中央図書館		2006	13	R C	2	3,776.52
武生中央公園	総合体育館（北）	2017	2	S R C	2	5,503.72
武生中央公園	総合体育館（南）	2017	2	S R C	2	1,764.15

構造：W（木造）、R C（鉄筋コンクリート造）、S R C（鉄骨鉄筋コンクリート造）、S（鉄骨造）

③ 南地区

建築物名称	棟	建築年	経過年数	構造	階数	延床面積
武生南幼稚園（休園中）		1968	51	W	1	379.22
武生南公民館		1973	46	R C	2	427.58
武生体育センター	体育館部	1977	42	S	1	688.83
武生南小学校	南校舎	1978	41	R C	3	2,550.39
武生南小学校	屋内運動場	1979	40	S R C	2	1,576.48
武生南小学校	本館	1981	38	R C	3	1,895.69
武生南児童センター		1982	37	S	1	533.85
武生第二中学校	特別教室棟（南校舎）	1983	36	R C	3	2,445.67
武生第二中学校	東渡り廊下（南-中）	1984	35	R C	3	210.00
武生第二中学校	普通教室棟（中校舎）	1984	35	R C	3	2,011.00
武生南公民館	増築部	1985	34	R C	2	253.58
武生第二中学校	本館（北校舎）	1985	34	R C	3	1,675.00
武生第二中学校	西渡り廊下（南-北）	1985	34	R C	3	223.00
武生第二中学校	本館（北校舎増築部）	1986	33	R C	3	526.04
ふるさとギャラリー叔羅		1993	26	R C	2	812.96
武生第二中学校	屋内運動場	1997	21	S R C	2	2,552.43
武生第二中学校	ランチルーム	2002	16	S	1	419.33
武生南小学校	北校舎（西）	2009	10	R C	2	1,024.00
武生南小学校	北校舎（東）	2010	9	R C	2	903.00
越前市弓道場	近的・射場棟	2014	5	S	1	425.31

構造：W（木造）、R C（鉄筋コンクリート造）、S R C（鉄骨鉄筋コンクリート造）、S（鉄骨造）

④ 神山地区

建築物名称	棟	建築年	経過年数	構造	階数	延床面積
神山小学校	屋内運動場	1972	46	R C	2	939.31
神山公民館		1974	45	R C	2	332.10
神山小学校	給食室棟	1974	45	R C	3	536.81
神山児童館 (旧神山幼稚園 遊戯室)	遊戯室	1981	38	S	1	302.40
神山小学校	管理・特別・普通教室棟 (北校舎)	1981	38	R C	3	1,927.11
神山小学校	図書室棟	1987	31	R C	1	217.00
神山児童館	児童館	2014	5	W	1	275.91

構造：W (木造)、R C (鉄筋コンクリート造)、S R C (鉄骨鉄筋コンクリート造)、S (鉄骨造)

⑤ 吉野地区

建築物名称	棟	建築年	経過年数	構造	階数	延床面積
吉野幼稚園	保育室	1975	44	R C	1	480.43
家久保育園	保育室南棟 (A棟)	1976	43	R C	1	237.91
家久保育園	遊戯室棟 (B棟)	1976	43	R C	1	227.60
家久保育園	保育室北棟 (C棟)	1976	43	R C	1	233.70
吉野小学校	普通教室棟 (中校舎)	1977	42	R C	3	1,322.11
吉野公民館		1978	41	R C	2	453.54
吉野小学校	普通・特別教室棟 (南校舎)	1980	39	R C	3	2,055.05
吉野小学校	屋内運動場	1983	36	S R C	2	1,350.91
家久スポーツ公園	温水プール	1985	34	S R C	2	1,387.93
吉野小学校	管理棟 (北校舎)	1991	28	R C	2	1,047.14
吉野小学校	玄関・多目的ホール棟	2003	16	R C	2	989.00
吉野児童館	児童館	2012	7	W	1	224.82
吉野幼稚園	遊戯室	2012	7	S	1	272.88

構造：W (木造)、R C (鉄筋コンクリート造)、S R C (鉄骨鉄筋コンクリート造)、S (鉄骨造)

⑥ 国高地区

建築物名称	棟	建築年	経過年数	構造	階数	延床面積
国高幼稚園	管理・保育室棟	1971	47	R C	1	426.08
国高小学校	特別教室棟（北校舎西部）	1976	43	R C	3	1,427.00
武生第三中学校	北校舎	1984	35	R C	3	2,522.05
武生第三中学校	東渡り廊下（北-中）	1985	34	R C	3	226.00
武生第三中学校	中校舎	1985	34	R C	3	2,276.00
国高小学校	教室棟（北校舎東部）	1985	34	R C	3	646.95
国高公民館		1986	33	R C	2	653.27
武生第三中学校	屋内運動場	1986	33	S R C	2	2,175.62
武生第三中学校	南校舎	1988	31	R C	3	2,638.00
国高公民館	スポーツルーム・勤労者体育館	1990	29	S R C	1	707.12
国高幼稚園	遊戯室	1991	28	R C	1	331.21
国高児童センター		1997	22	S	1	351.78
国高小学校	給食室棟	1998	20	R C	3	978.80
国高小学校	屋内運動場	2000	18	S R C	2	1,995.56
武生第三中学校	ランチルーム	2002	16	S	1	274.94
瓜生水と緑公園	体育館	2010	9	S R C	1	565.55
国高小学校	南校舎（東）	2014	4	R C	3	1,447.16
国高小学校	南校舎（西）	2014	4	R C	3	2,126.52

構造：W（木造）、R C（鉄筋コンクリート造）、S R C（鉄骨鉄筋コンクリート造）、S（鉄骨造）

⑦ 大虫地区

建築物名称	棟	建築年	経過年数	構造	階数	延床面積
大虫小学校	教室棟（中校舎）	1975	44	R C	3	1,514.00
上太田保育園	保育室南棟（A棟）	1977	42	R C	1	226.09
上太田保育園	管理室棟（B棟）	1977	42	R C	1	150.00
上太田保育園	遊戯室・保育室北棟（C棟）	1977	42	R C	1	259.84
大虫小学校	特別教室棟	1981	38	R C	3	1,154.45
大虫公民館		1982	37	R C	2	447.62
大虫小学校	本館	1983	36	R C	2	989.76
大虫体育館		1984	35	S	1	607.92
大虫小学校	屋内運動場	2001	18	S R C	2	1,420.32
大虫児童館		2009	10	W	2	265.14

構造：W（木造）、R C（鉄筋コンクリート造）、S R C（鉄骨鉄筋コンクリート造）、S（鉄骨造）

⑧ 坂口地区

建築物名称	棟	建築年	経過年数	構造	階数	延床面積
坂口小学校	管理・教室棟	1971	47	R C	3	967.50
坂口小学校	屋内運動場	1972	46	R C	2	870.10
坂口公民館		1977	42	R C	2	356.89
坂口小学校	特別教室棟（+幼稚園）	1981	38	R C	2	288.78
武生第二中学校坂口分校	本館	1997	21	R C	3	1,100.95

構造：W（木造）、R C（鉄筋コンクリート造）、S R C（鉄骨鉄筋コンクリート造）、S（鉄骨造）

⑨ 王子保地区

建築物名称	棟	建築年	経過年数	構造	階数	延床面積
王子保公民館	本館	1975	44	R C	2	371.49
王子保公民館	スポーツルーム	1975	44	S	1	360.00
武生第六中学校	屋内運動場	1978	40	S R C	2	1,097.08
武生第六中学校	本館	1978	40	R C	3	2,394.52
王子保小学校	管理・特別教室棟（東校舎）	1980	39	R C	3	1,484.02
王子保幼稚園	保育室	1981	38	R C	1	360.40
王子保幼稚園	遊戯室	1981	38	S	1	240.00
王子保小学校	屋内運動場	1982	37	S R C	2	1,173.53
王子保公民館	増築部	1985	34	R C	2	250.70
武生第六中学校	特別教室棟	1988	31	R C	2	874.00
白崎公園	屋内ゲートボール場	1993	26	S	1	1,100.21
王子保児童センター		2001	18	W	1	326.05
武生第六中学校	ランチルーム	2004	14	S	1	262.50
王子保小学校	図書室	2005	13	S	1	204.25
王子保小学校	給食室棟	2010	8	R C	1	318.52
王子保小学校	西校舎	2011	7	R C	3	1,996.01

構造：W（木造）、R C（鉄筋コンクリート造）、S R C（鉄骨鉄筋コンクリート造）、S（鉄骨造）

⑩ 北新庄地区

建築物名称	棟	建築年	経過年数	構造	階数	延床面積
北新庄公民館		1977	42	R C	2	450.98
北新庄体育館		1982	37	S	1	576.59
認定こども園北新庄		1994	25	R C	1	671.70
北新庄小学校	給食室・多目的ホール棟	2006	12	R C	1	600.00
北新庄小学校	本館	2007	12	R C	3	3,240.00
北新庄小学校	屋内運動場	2014	5	S R C	1	1,098.63
北新庄児童館		2015	4	W	1	227.24

構造：W（木造）、R C（鉄筋コンクリート造）、S R C（鉄骨鉄筋コンクリート造）、S（鉄骨造）

⑪ 北日野地区

建築物名称	棟	建築年	経過年数	構造	階数	延床面積
認定こども園北日野		1978	41	R C	1	817.25
北日野小学校	屋内運動場	1979	40	S R C	2	1,129.52
北日野小学校	管理普通教棟（西校舎）	1979	40	R C	3	2,619.92
北日野児童センター （旧北日野幼稚園）	遊戯室	1980	39	R C	1	281.65
北日野公民館		1981	38	R C	2	454.44
北日野小学校	給食室・教室棟（東校舎）	1981	38	R C	3	538.31
北日野体育館		1984	35	S	1	607.92
認定こども園北日野	増築部	2013	6	S	1	296.92

構造：W（木造）、R C（鉄筋コンクリート造）、S R C（鉄骨鉄筋コンクリート造）、S（鉄骨造）

⑫ 味真野地区

建築物名称	棟	建築年	経過年数	構造	階数	延床面積
味真野小学校	屋内運動場	1975	44	R C	2	982.23
味真野小学校	普通教室棟（北校舎）	1978	41	R C	3	1,730.54
味真野公民館		1980	39	R C	2	512.62
味真野小学校	給食室・特別教室棟	1980	39	R C	3	739.56
武生東運動公園	陸上競技場	1982	37	S	1	645.30
味真野幼稚園 (休園中)		1989	30	R C	1	559.86
味真野公民館	スポーツルーム	1990	29	S	1	664.31
味真野小学校	本館・管理棟（南校舎）	1990	29	R C	2	1,378.00
味真野小学校	多目的スペース棟	1990	29	R C	2	259.00
万葉中学校	屋内運動場	1994	25	S R C	2	2,159.25
万葉中学校	本館（南校舎）	1995	23	R C	3	1,749.91
万葉中学校	管理棟（東校舎）	1995	23	R C	3	1,329.66
万葉中学校	普通教室棟（中校舎）	1995	23	R C	3	1,555.97
万葉中学校	特別教室棟（北校舎）	1996	23	R C	3	1,885.24
味真野児童センター		2001	18	W+S	1	329.94

構造：W（木造）、R C（鉄筋コンクリート造）、S R C（鉄骨鉄筋コンクリート造）、S（鉄骨造）

⑬ 白山地区

建築物名称	棟	建築年	経過年数	構造	階数	延床面積
白山公民館		1976	43	R C	2	434.90
武生第五中学校	屋内運動場	1991	28	S R C	2	1,278.16
武生第五中学校	本館（中央）	1992	27	R C	3	1,196.81
武生第五中学校	本館（東部）	1992	27	R C	3	871.52
武生第五中学校	本館（西部）	1992	27	R C	3	894.06
白山小学校	普通教室棟	2003	16	W	1	892.00
白山小学校	特別教室棟	2003	16	W + R C	2	1,681.00
白山小学校	屋内運動場	2015	4	S R C	1	1,155.74

構造：W（木造）、R C（鉄筋コンクリート造）、S R C（鉄骨鉄筋コンクリート造）、S（鉄骨造）

⑭ 栗田部地区

建築物名称	棟	建築年	経過年数	構造	階数	延床面積
花筐小学校	屋内運動場	1970	49	R C	2	1,813.00
花筐小学校	校舎	1971	48	R C	3	3,101.00
栗田部体育館	体育館・廊下	1974	45	S	1	508.80
花筐公民館		1977	42	R C	2	612.00
花筐児童館 (旧花筐保健センター)		1983	36	R C	2	323.50
いまだて芸術館	本館	1991	28	S R C	2	2,559.66

構造：W（木造）、R C（鉄筋コンクリート造）、S R C（鉄骨鉄筋コンクリート造）、S（鉄骨造）

⑮ 岡本地区

建築物名称	棟	建築年	経過年数	構造	階数	延床面積
岡本小学校	管理棟（南校舎）	1983	36	R C	2	1,054.00
今立図書館		1983	36	R C	2	747.86
今立体育センター		1984	35	R C	2	1,418.74
認定こども園岡本		1990	29	R C	1	553.94
岡本児童館 （旧岡本幼稚園）	園舎	1992	27	R C	1	439.67
岡本小学校	屋内運動場	1993	26	S R C	2	1,458.31
岡本公民館 生涯学習センター今立分館		1998	21	R C	2	976.19
岡本小学校	教室棟（北校舎）	2013	5	S	2	2,349.42

構造：W（木造）、R C（鉄筋コンクリート造）、S R C（鉄骨鉄筋コンクリート造）、S（鉄骨造）

⑩ 南中山地区

建築物名称	棟	建築年	経過年数	構造	階数	延床面積
南越中学校	北校舎	1980	39	R C	3	2,430.44
南中山公民館 今立勤労青少年ホーム		1981	38	R C	2	925.91
南中山小学校	特別教室棟（北校舎）	1984	35	R C	3	1,008.43
南越中学校	南校舎	1986	33	R C	3	2,590.00
南越中学校	中校舎	1986	33	R C	3	2,105.00
南越中学校	多目的ホール棟	1986	33	R C	3	604.00
南越中学校	渡り廊下（北-中）	1986	33	R C	3	292.00
南越中学校	屋内運動場	1987	31	R C	2	2,523.87
南越中学校	給食室	1988	30	R C	1	200.31
認定こども園南中山	園舎（旧：幼稚園）	1995	24	S	2	682.27
南中山小学校	高学年棟（北校舎東部）	2008	11	S	2	1,016.00
南中山小学校	高学年棟（北校舎西部）	2008	11	S	2	257.00
南中山小学校	中低学年棟（西校舎）	2008	11	S	2	939.59
南中山小学校	管理棟（南校舎）	2009	10	S	2	613.00
南中山小学校	屋内運動場	2012	7	S R C	1	1,131.66
認定こども園南中山	保育園棟	2012	7	R C	1	802.67

構造：W（木造）、R C（鉄筋コンクリート造）、S R C（鉄骨鉄筋コンクリート造）、S（鉄骨造）

⑰ 服間地区

建築物名称	棟	建築年	経過年数	構造	階数	延床面積
服間小学校	校舎（西部）	1965	54	R C	3	1,599.00
服間小学校	校舎（中央部）	1977	41	R C	3	744.20
服間改善センター （服間公民館）	集会所棟	1980	39	R C	1	542.60
服間改善センター （服間公民館）	体育館棟	1980	39	R C	1	454.63
服間小学校	校舎（東部）	1985	34	R C	3	517.89
服間児童館		1987	32	R C	1	243.00
服間小学校	屋内運動場・渡り廊下	1991	28	S R C	2	1,401.90
認定こども園服間	園舎・渡り廊下	1994	25	R C	1	454.76

構造：W（木造）、R C（鉄筋コンクリート造）、S R C（鉄骨鉄筋コンクリート造）、S（鉄骨造）